

## 2019年度 事業計画

1. 一般社団法人日本肝臓学会定款（以下「定款」という。）第4条第1項の規定に基づいて、学術集会を開催、学術誌・学術図書を発行する。また、研究の奨励、研究業績の表彰等を行なう。

### (1) 学術集会の開催

名称	期間・会場	会長
第55回総会	2019年5月30日(木)～31日(金) 東京都：京王プラザホテル テーマ：未来につなぐ肝臓学 －20年後を見据えて－	持田 智 埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科
第23回大会 (JDDW2019)	2019年11月21日(木)～22日(金) (第27回日本消化器関連学会週間) 神戸市：神戸コンベンション他 テーマ：ポスト HCV 時代の肝臓病学の展開 －原点を考えよう肝臓病学－	松崎 靖司 東京医科大学茨城医療センター 消化器内科 【代行】滝川 一 帝京大学 医療技術学部
第43回西部会	2019年12月12日(木)～13日(金) 下関市：海峡メッセ下関 テーマ：肝臓学の医新	坂井田 功 山口大学医学部 消化器内科学

### 国際学術集会

International Liver Conference	2019年10月1日(火)～2日(水) 大阪市：大阪国際会議場 テーマ：Liver Cirrhosis and Portal Hypertension : Modern Pathophysiology and Emerging Therapies	河田 則文 大阪市立大学大学院 医学研究科 肝胆膵病態内科学
--------------------------------------	--	--------------------------------------

### EASL- JSH Joint Session

EASL 主催	2019年4月12日(金) オーストリア(ウィーン) テーマ：HBV	Chair 竹原 徹郎 Senior speaker 田中 靖人 Junior speaker 塩川 雅広
JSH 主催 第55回総会	2019年5月30日(木) 東京都：京王プラザホテル テーマ：NAFLD	Chair 徳重 克年 Senior speaker 池嶋 健一 Junior speaker 中川 勇人

『第6回肝臓と糖尿病・代謝研究会』は、日本糖尿病学会の担当で開催する。

第6回 肝臓と糖尿病・ 代謝研究会	2019年5月25日(土) 仙台市：仙台国際センター	山田祐一郎 秋田大学大学院医学系研究科 内分泌・代謝・老年内科学
-------------------------	-------------------------------	--

### (2) 学術誌・学術図書の発行

#### ① 和文誌『肝臓』

第60巻4号～12号、61巻1号～3号までの12号及び第55回総会、第23回大会、第43回西部会の抄録を刊行する。なお、第60巻4号から発行日を毎月1日に変更する。また、第55回総会から電子版抄録の利用を開始する。

#### ② 欧文誌『Hepatology Research』

Vol.49 No.4～12、Vol.50 No.1～3の12号を刊行する。

③ その他

- 『肝炎治療ガイドライン』の改訂作業を継続する。
- 日本消化器病学会と共同で『肝硬変ガイドライン』、『NAFLD ガイドライン』の改訂作業を継続する。
- 『サルコペニア判定基準』の改訂について検討する。
- 医療従事者向け及び市民向けパンフレット改訂版を発行する。

(3) 研究の奨励、研究業績の表彰

- ① 最も優れた研究成果をあげた会員に「織田賞（学会賞）」を授与し、奨励金（200万円）を交付する。
- ② 会員の研究奨励のため、8名を限度として「研究奨励賞」を授与し、奨励金（1件50万円）を交付する。
- ③ 日本肝臓学会機関誌 Citation Award を選び、その筆頭著者に奨励金（1件10万円）を交付する。
  - 肝臓 1 篇
  - Hepatology Research Review article（含 Special Report） 2 篇
  - Hepatology Research Original article（含 Short Communication、Case Report） 2 篇
- ④ 中堅研究者の研究奨励のため、次の冠 Award を授与し、賞金を交付する。
  - 第 18 回 OTSUKA Award 1 賞 100 万円
  - 第 18 回 MSD Award 2 賞 200 万円
  - 第 4 回 Abbie Award 2 賞 200 万円
  - 第 4 回 Gilead Sciences Award 3 賞 300 万円
  - 第 1 回 Eisai Award 2 賞 200 万円
- ⑤ 国際学術集会参加に伴う費用の一部助成を行う。  
助成費は、口演発表 20 万円、ポスター発表 10 万円とし、年総額 300 万円を上限とする。  
なお、申請件数は、1 教室で 2 件までとし、口演発表を優先する。
- ⑥ 外国人研修生の学術集会参加のため、旅費等の助成を行う。

2. 定款第 4 条第 2 項の規定に基づいて、教育講演会を開催し、肝臓専門医を育成する。

(1) 教育講演会

一般社団法人日本肝臓学会教育講演会に関する内規に基づいて教育講演会を開催する。

名称	期日・会場	会長
前期 教育講演会	2019年6月1日(土) 東京都：京王プラザホテル	持田 智 埼玉医科大学 消化器内科・肝臓内科
単独開催 教育講演会	2019年8月10日(土) 東京都：シェーンバッハ砂防	坂本 直哉 北海道大学大学院 医学研究院 消化器内科学分野
後期 教育講演会	2019年12月13日(金) 下関市：海峡メッセ下関	坂井田 功 山口大学医学部 消化器内科学
e ラーニング (前期教育講演会)	2019年10月1日(火)～ 12月25日(水)	—

※前期講演会において、e ラーニング配信用の収録を行い配信する。

## (2) 肝臓専門医制度

① 肝臓専門医制度に基づく施設の認定、指導医の認定及び肝臓専門医の更新・認定を行う。

専門医認定試験 2019年11月17日(日) 砂防会館(シェーンバッハ・サボウ)

専門医更新締切日 2019年12月

指導医・認定施設等の申請締切日 2019年12月

② 4月から始まる新専門医制度に対応する。

・肝臓専門医専攻医研修スタートするが、サブスペシャルティ版 J-OSLER(肝臓学会専門医専攻医登録評価システム)の稼働開始が10月にずれ込むため、登録は当面手作業で行う。

・認定施設等への「肝臓専門医専攻研修管理委員会」の設置を推進する。

3. 定款第4条第4項の規定に基づいて市民公開講座を開催し、各都道府県責任者のもとにおいて肝がん撲滅運動を展開する。また、第5項に基づいて事業を展開する。

(1) 一般市民の肝臓病に関する啓発のため、厚生労働省の後援を得て、肝臓週間(7月22日から28日)の最終日7月28日(日)に全国5ヶ所で市民公開講座を開催する。

- 北海道地区 会場 札幌厚生病院新棟3階大講堂 札幌市  
責任者 小関 至(札幌厚生病院肝臓内科)
- 関東地区 会場 群馬県社会福祉総合センター 前橋市  
責任者 柿崎 暁(群馬大学医学部附属病院消化器・肝臓内科)
- 中部地区 会場 三重大学医学部 総合医学教育棟 第三講義室 津市  
責任者 岩佐 元雄(三重大学医学部消化器内科学)
- 近畿地区 会場 TKP心斎橋駅前カンファレンスセンター 大阪市  
責任者 榎本 大(大阪市立大学大学院医学研究科肝胆膵病態内科学)
- 中国地区 会場 中国新聞ホール 広島市  
責任者 相方 浩(広島大学病院消化器・代謝内科)

(2) ウイルス肝炎研究財団主催の市民公開講座の開催地及び責任者を推薦する。

- 九州地区 責任者 田中 靖人(名古屋市立大学大学院)  
前城 達次(琉球大学医学部附属病院)

(3) 肝がん撲滅運動(1999年度から実施)

各都道府県50箇所で市民公開講座や医療従事者向けの講演会等を開催する。

(4) 医学教育事業(2018年度から実施)

① 肝炎医療コーディネーター研修会

医師以外の医療従事者を対象として研修会を開催。2019年度は26施設で開催し、肝炎医療コーディネーターを育成する。

② School of Hepatology

2019年9月28日 愛媛県東温市 責任者:日浅 陽一(愛媛大学大学院)

2019年10月26日(予定) 静岡県浜松市 責任者:田中 篤(帝京大学医学部)

## 4. 会議の開催

定款及び定款施行細則等の規定に基づいて、理事会、定時総会(評議員会)を開催するとと

もに各種委員会を随時開催し、学会の運営等について審議する。

(1) 理事会

第1回定例理事会	2019年 5月29日 (水)	東京
第2回定例理事会	2019年11月20日 (水)	神戸
第3回定例理事会	2020年 3月 日 ( )	東京

(2) 定時総会 (評議員会)

2019年 5月30日 (木) 東京

(3) 各種委員会

(4) 支部会関係

東部会世話人会	2019年11月21日 (木)	神戸
東部会評議員会	2019年11月21日 (木)	神戸
西部会世話人会	2019年12月11日 (水)	下関
西部会評議員会	2019年12月12日 (木)	下関

5. その他

(1) 2020年度の評議員 (代議員) 改選、役員改選への対応

現評議員 (代議員) の任期は、2020年3月31日までであり、2020年4月1日から新たな評議員 (代議員) を選出するため、評議員選出委員会、第2回定例理事会を経て募集し、評価のうえ、すべての正会員の信任投票で決する。

(2) 2021年診療報酬改定への対応

社会保険委員会において取り纏めた要望事項が認定されるよう、内科系学会社会保険連合等と連携して対応する。

(3) 他の学術団体との連携について

日本医学会、日本医学会連合、日本がん治療学会、日本栄養療法協議会などに代表者を派遣するとともに、「医療事故調査・支援センター」などに協力する。

また、一般社団法人日本医学会連合、内科系学会社会保険連合、医療安全調査機構等の団体の評議員等として参画する。

第55回総会において、日本医学会連合会「加盟学会連携フォーラム」を日本産業衛生学会と開催する。

(4) 情報システムの整備と情報管理の向上

会員管理システム (マイページ) の改修を継続して行う。2017年度から開始した現システムの改修を継続して行い、夏頃に第2次改修のリリースを予定している。